

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	複雑な慢性B型大動脈解離症例に対し、上腸間膜動脈のバルーン血管形成術およびブリッジングステントグラフトによる再血行再建に続いて胸部ステントグラフト内挿術を行い、偽腔の完全閉鎖を達成した一例		
1. 研究の目的と方法	【目的】 本研究の目的は、複雑な慢性B型大動脈解離の患者さんに対して行った治療の経過を報告し、その治療戦略の有用性および安全性を考察することです。 【方法】 本研究は、単一症例を対象とした症例報告です。本研究において、新たな侵襲的介入や追加検査は行わず、すべて通常診療として実施された医療行為および既存データのみを用います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年7月7日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院において診療を行った慢性B型大動脈解離の患者さん		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果、手術内容、手術経過	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科講座
		氏名	山岸大祐
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026年2月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 外科講座 研究責任者：山岸 大祐（やまぎし だいすけ） 電話番号：03-3433-1111（内線 9251） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。